

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2017年

氏名	児玉 安司	担当科目	医事法
学 位			
1983年3月	法学士		
1991年3月	医学士		
1995年6月	法学修士(LL.M.)		
2004年2月	医学博士		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1983年3月	東京大学法学部卒		
1991年3月	新潟大学医学部卒		
1995年6月	シカゴ大学ロースクール修士課程修了		
2004年2月	医学博士号取得（新潟大学）		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1988年10月	司法試験合格		
1991年5月	医師国家試験合格		
1991年	在日アメリカ海軍横須賀病院医師（～92年）		
1992年	最高裁判所司法研修所修習生（～94年）		
1994年	長谷川俊明法律事務所勤務		
1995年	Blatt Hammesfahr & Eaton 法律事務所(シカゴ)勤務		
1995年	Sidley&Austin 法律事務所(シカゴ)製造物責任グループ勤務（～96年）		
1996年	Barlow Lyde & Gilbert 法律事務所(ロンドン)再保険部勤務（～97年）		
1996年11月	米国ニューヨーク州司法試験合格		
1997年	長谷川俊明法律事務所勤務		
1998年	三宅坂総合法律事務所勤務		
2012年	新星総合法律事務所勤務（～現任）		
	ほか東京大学はじめ各大学・大学院の特任教授・客員教授・非常勤講師等を多数歴任 厚生労働省等の委員会委員等を多数歴任 講演・講義・学会発表等多数		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
	著書		
2012年	『カラー版内科学』総編集 門脇孝、永井良三『第1章第9節「医療と法」』（西村書店）30-32		
2012年	『アメリカ法判例百選』樋口範雄、柿嶋美子、浅香吉幹、岩田太編 児玉安司ほか著（有斐閣）204-205		
2013年	『裁判実務シリーズ5 医療訴訟の実務』高橋讓編著 高瀬浩造、小口五大、安原幸彦、児玉安司ほか著（商事法務）57-78		
2014年	『別冊 仲裁とADR ADRの実際と展望』仲裁ADR法学会、明治大学法科大学院編 児玉安司ほか著（商事法務）68-73		
2014年	『消化器病診療(第2版)』一般財団法人日本消化器病学会監修、「消化器病診療(第2版)」編集委員会編 児玉安司ほか著(医学書院) 460-462		

	ほか 論文
2014年	「医療介護のリスク・マネジメント⑥ 「リスク」とは何か」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第597号 32-33
2014年	「社会福祉法人のリスクマネジメント再考」(社会福祉法人全国社会福祉協議会全国社会福祉法人経営者協議会『経営協』) Vol. 372 4-5
2014年	「J-CLEAR 通信 44 臨床研究における利益相反と近時の課題」(日本医事新報社『週刊日本医事新報』) No. 4715 38-39
2014年	「医療介護のリスク・マネジメント⑦ 終末期医療と法的「リスク」」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第598号 32-33
2014年	「医療介護のリスク・マネジメント⑧ 信頼性は どう やって 進化 して いく の か」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第599号 32-33
2014年	「医療への信頼を再構築するための法政策の課題」(医学書院『病院』2014年11月号)854-858
2014年	「医療介護のリスク・マネジメント⑨ ルールと倫理と責任と」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第600号 30-31
2015年	「医療介護のリスク・マネジメント⑩ 何が証拠になるか」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第601号 32-33
2015年	「医療介護のリスク・マネジメント⑪ 医師は裁判所で何を語るべきか① 近代裁判と当事者主義」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第602号 32-33
2015年	「医療介護のリスク・マネジメント⑫ 未来の法制度の整備のために」(独立行政法人福祉医療機構『WAM』) 第603号 32-33
	ほか
(参考: 外部リンク) プロフィールURL	
	http://www.ncc.go.jp/jp/about/kodama.html